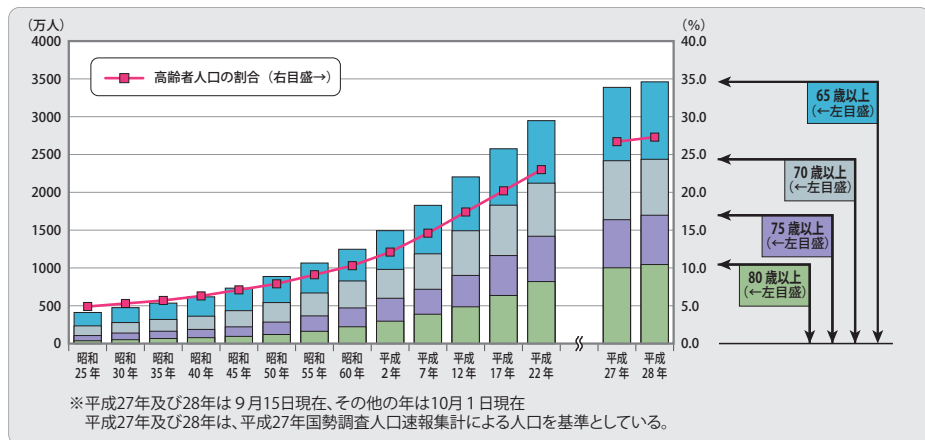




65歳以上の高齢者人口は3461万人

■ 高齢者人口及び割合の推移 (昭和25年～平成28年)

平成28年9月15日現在の65歳以上の高齢者人口は3461万人で、総人口に占める割合は27.3%となり、人口、割合共に過去最高となりました。



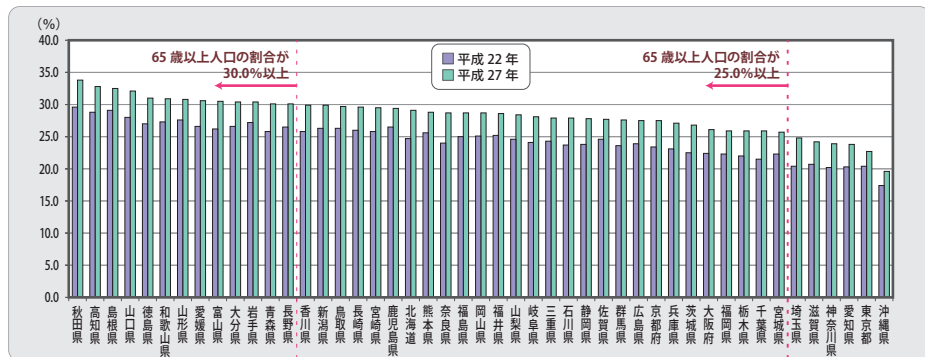
資料:昭和25年～平成22年は国勢調査結果、平成27年及び28年は人口推計

全都道府県で65歳以上人口の割合が15歳未満人口の割合を初めて上回る

■ 都道府県別65歳以上人口の割合 (平成22年、27年)

総人口に占める65歳以上人口の割合を都道府県別にみると、秋田県が33.8%と最も高く、次いで高知県が32.8%、島根県が32.5%などとなっており、41道府県で25%以上となっています。一方、沖縄県が19.6%と最も低く、次いで東京都が22.7%、愛知県が23.8%などとなっています。

また、沖縄県の65歳以上人口の割合が、15歳未満人口の割合(17.4%)を上回ったことで、全都道府県で65歳以上人口の割合が15歳未満人口の割合を初めて上回りました。



資料:国勢調査結果

高齢者等のための設備工事の割合

■ 世帯の型、平成21年以降の高齢者等のための設備の工事状況別持ち家に居住する主世帯数—全国（平成25年）

持ち家に居住する主世帯（3217万世帯）について、平成21年以降の高齢者等のための設備工事を行った世帯は、429万世帯で、全体の13.3%となっています。このうち、高齢者のいる主世帯（1725万世帯）は、346万世帯で、高齢者のいる世帯全体の20.0%となっています。高齢者等のための設備工事を行った割合は、高齢者のいる主世帯が持ち家に居住する主世帯全体を6.7ポイント上回っています。

設備の工事状況別にみると、高齢者のいる主世帯は「廊下や階段の手すりの設置」が10.4%、「屋内の段差の解消」が3.0%、「浴室の工事」が8.0%、「トイレの工事」が9.5%などとなっており、いずれも持ち家に居住する主世帯全体（それぞれ6.8%、2.2%、5.3%、6.1%）を上回っています。

世帯の型	総数	工事した						工事をしていない
		総数 1)	廊下や階段の 手すりの設置	屋内の段差 の解消	浴室の 工事	トイレの 工事	その他	
実数（1000世帯）								
持ち家に居住する主世帯総数	32,166	4,294	2,178	692	1,720	1,950	787	27,872
高齢者のいる主世帯	17,247	3,457	1,793	523	1,386	1,630	630	13,789
高齢単身世帯	3,622	712	384	96	284	333	141	2,910
高齢者のいる夫婦主世帯	5,097	1,031	533	159	438	498	174	4,065
高齢者のいるその他の主世帯	8,528	1,714	876	268	665	800	316	6,814
割合（%）								
持ち家に居住する主世帯総数	100.0	13.3	6.8	2.2	5.3	6.1	2.4	86.7
高齢者のいる主世帯	100.0	20.0	10.4	3.0	8.0	9.5	3.7	80.0
高齢単身世帯	100.0	19.7	10.6	2.6	7.8	9.2	3.9	80.3
高齢者のいる夫婦主世帯	100.0	20.2	10.5	3.1	8.6	9.8	3.4	79.8
高齢者のいるその他の主世帯	100.0	20.1	10.3	3.1	7.8	9.4	3.7	79.9

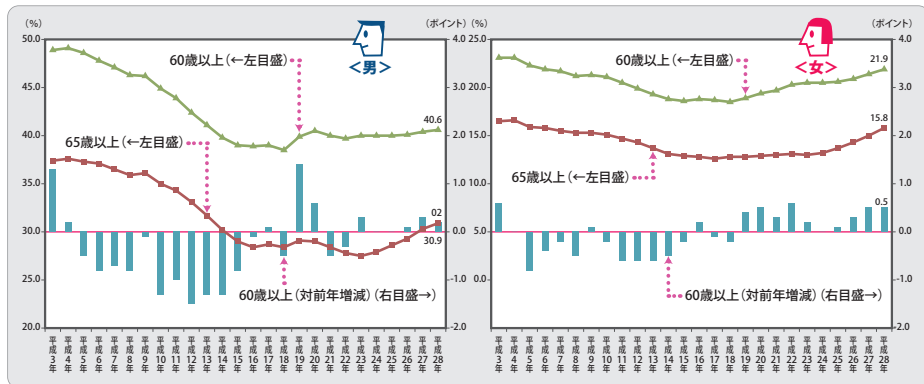
1) 複数回答であるため、内訳は総数とは必ずしも一致しない。

資料：住宅・土地統計調査結果

60歳以上の就業率は女性で上昇傾向

■ 60歳以上の就業率の推移（平成3年～28年）

60歳以上の就業率（人口に占める「就業者」の割合）は、男性が40.6%、女性が21.9%となっており、女性は前年に比べ4年連続で上昇しています。



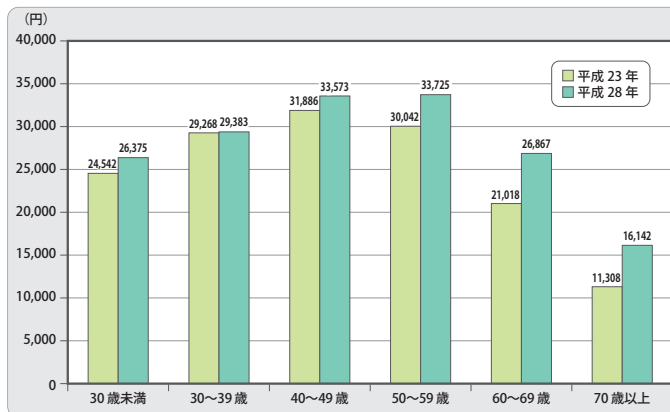
資料：労働力調査（基本集計）結果 ※平成23年平均の比率は、補完推計値



高齢者世帯で増加するインターネット接続料

■ 世帯主の年齢階級別1世帯当たりのインターネット接続料の年間支出金額（二人以上の世帯）

二人以上の世帯について、世帯主の年齢階級別にインターネット接続料の年間支出金額を平成28年とその5年前の平成23年とで比較すると、増加幅が最も大きいのは60～69歳の世帯(5,849円の増加)で、次いで70歳以上の世帯(4,834円の増加)などとなっています。



資料：家計調査(家計収支編)結果

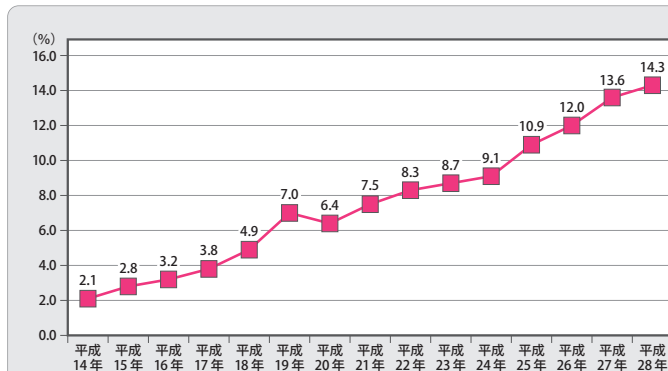
ネットで
いろいろ
調べてます。



普及する高齢者世帯のネットショッピングの利用

■ ネットショッピングを利用した世帯の二人以上の世帯に占める割合の推移（二人以上の世帯 平成14年～28年）

高齢者世帯（世帯主が65歳以上である二人以上の世帯）について、ネットショッピングを利用した世帯割合をみると、平成28年は14.3%となり、家計消費状況調査が始まった平成14年(2.1%)からの14年間で6.8倍となっています。若い世代の利用が多いと思われがちなネットショッピングですが、高齢者世帯でも利用が増えていることがうかがえます。



資料：家計消費状況調査結果 注) ここでは、「インターネットを利用しての商品・サービスの購入」のことを「ネットショッピング」と表記しています。



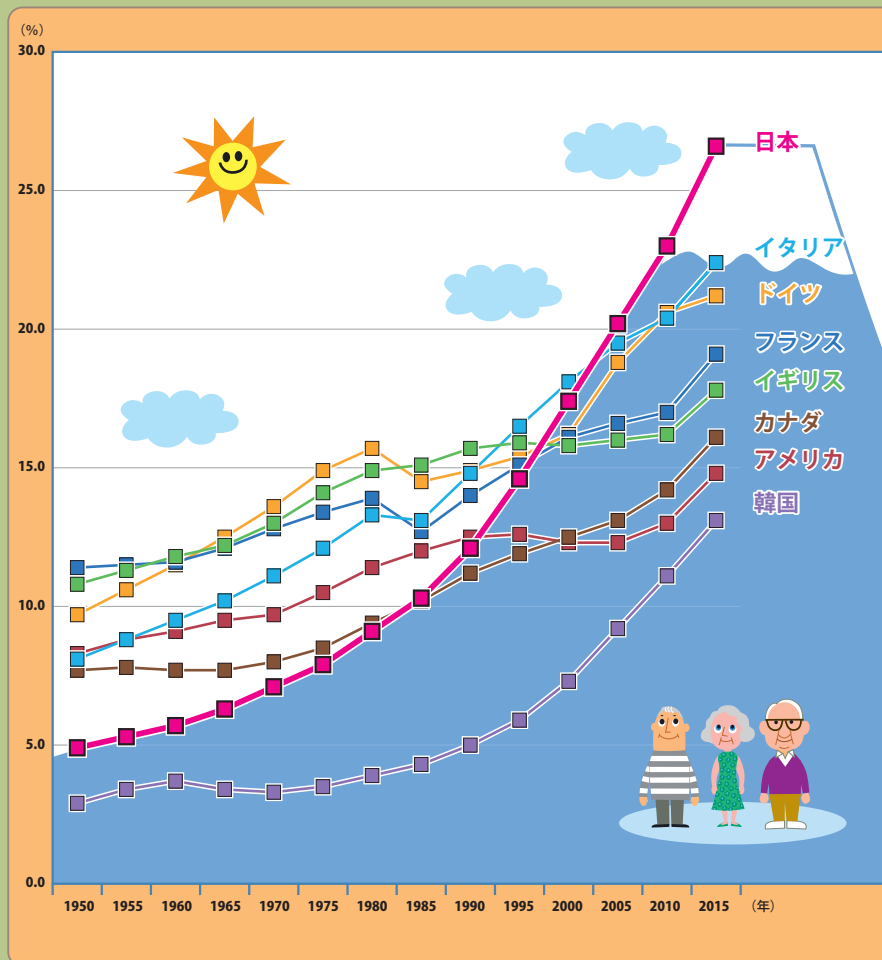
Topics 4

世界の65歳以上人口の割合

我が国の総人口に占める65歳以上人口の割合の推移をみると、昭和25年（1950年）以前は5%前後で推移していましたが、その後は上昇が続き、昭和60年（1985年）には10%を、平成17年（2005年）には20%を超え、平成27年（2015年）は26.6%まで上昇しました。

諸外国と比べると、我が国はイタリア（22.4%）及びドイツ（21.2%）よりも高く、世界で最も高い水準となっています。

■ 65歳以上人口の割合の推移—諸外国との比較（1950年～2015年）



資料：日本は国勢調査結果、他国は United Nations, "World Population Prospects, The 2015 Revision"